



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.33

令和3年9月13日

文責：校長 伊藤 孝行

福島県 新型コロナウイルス感染症 非常事態宣言 延長

(令和3年8月8日～9月30日)

郡山市に出されていた「まん延防止等重点措置」が延長されました。それに伴い、今まで校内で行っていた措置や校庭や体育館の解放の中止も継続となります。

県全体の感染者数が少しずつ減少していますが、市内では新たなクラスターの発生が伝えられています。引き続き、緊張感をもって感染防止に努めて参りたいと思います。

中間反抗期について考えよう(2)

中間反抗期は、「第1次反抗期」と「第2次反抗期」の間に訪れるものということは前号で述べました。今回は原因と対応を考えていきます。

【中間反抗期の原因】



口答えや反抗的な態度が増える中間反抗期は、保護者も戸惑いを覚えることが多くなるでしょうが、決して子育てを間違ったわけではありません。

多くの子どもの成長過程で見られる一般的な行動です。

① 自立心の芽生え

中間反抗期の時期は、学校や友人関係を通して世界も人間関係も広がっていくものです。それにより、幼児期のように親に何でも手助けしてもらったり、付き添ってもらったりするのではなく、自分自身で考え自由にしたいという自立心が強くなっていきます。そのため、親からの干渉や指示に反発することも増える傾向にあるのです。

② 友達関係のストレスや葛藤

学校などの集団生活で、新しい人間関係を築いたり、友達との関係性を深めたりしていく時

期ですが、なかなか最初からうまくはいかないものです。友達に思うように気持ちや意見を伝えられなかったり、ちょっとした行き違いによるいざこざもあつたりすることでしょう。



それらのストレスや不安な気持ちが、親への反動的な態度や口答えにも繋がることもあるものです。学校などで我慢している分、甘えられる存在である親にぶ

つけていると言えるでしょう。

【子どもへの接し方や声かけのポイント】

中間反抗期の子どもへの対処法は、どのようにすればいいのでしょうか。

反動的な態度が多く見られるようになってきたら、まずはじっくりと子どもの話を聞いてみましょう。反抗的な言動には、なんらかの理由があるはずですが、話を聞いてその理由がわかれば、一緒に解決策を考えることができます。また、言うことを聞かないのであれば、まずは子どもがやりたいようにやらせてみましょう。実際に自分の考え通り行動してみることで、気持ちが落ち着くこともあります。当然のことですが、これらの対応は一度でうまくいくことはありません。繰り返していくことが重要なポイントです。

通級指導教室を設置したいと思っています。

特別支援学級の他に通級指導教室というものがあります。それは通常学級に在籍していても、学習や生活面で支援が必要な子どもに対し、週に何時間か個別支援を受けるといったものです。

現在、日和田小学校には設置されていませんが、希望する子どもが市や県の規定に達すれば設置することが可能です。

通級指導教室での支援を希望する場合、子どもの学習や生活に関する困難さを証明する医師の診断書や保護者の同意書が必要となります。

通級指導教室や入級に関する詳細につきましては、各学級担任または、渡邊教頭までお問い合わせください。